

わくわく だより

今年の残暑は、かぶり厳しくて参りましたね。もう、いい加減にして欲しいという感じでした。ところで、今年の夏も我が家では「スイカ」を作りました。昨年は、小さいスイカが6~7個できたのですが、今年は大きいスイカを1個作ろうと思、て育てました。そろそろ食べ頃になり収穫もして、ワクワクしながら包丁を入れたら現れたのは黄色い実のスイカでした。真っ赤に熟したスイカの実だとはかき思、ていたのに、黄色いスイカの実が出て来た時は、ちょっと拍子抜けしました。子供の頃は、黄色いスイカが珍しくて楽しみでしたが、今は、やはりスイカは「赤」でほくちゅと思、ています。味も赤いスイカの方がおいしいようは気がします。ちひみに収穫したスイカは肥料も与えずに育、た割には、まあまあおいしいです。また来年も作りたいと思、っています。(売買：満山)

来年こそ
大きな甘いスイカを
つくろぞ~



ひとくちメモ

※今回はちょっとした疑問と、旬のくだものについて触れてみました。少しでも参考になればと思います。



○そうめんと冷や麦の違い

もう夏は終わりですが、夏の食欲のないときは冷たいそうめんや冷や麦がいちばんです。ところで、そうめんと冷や麦の違いをご存知でしょうか。

現在、そうめんと冷や麦の違いは太さにあり、JAS規格（日本農林規格）では直径1.3ミリ以上が冷や麦で、それより細いのがそうめんということです。

ちなみに、1.7ミリ以上はうどんとされているということです。

○柿の種を避けて切り分ける方法

柿を切り分ける時、包丁に種が当たってうまく切れないことがよくありますね。種を無理して切るのは包丁にも良くありませんし、見栄えも良くありません。

そこで、種のないところを見分ける方法があります。柿の頭の部分の皮を薄く剥くと、十文字に線が入っているのが見えます。この線に沿って包丁を入れると、種に当たらず、きれいに切れます。

ちなみに、完全に受粉して種が入ると8個の種が入るそうですが、実際に8個の種が入るのは稀だそうです。



ひとくちメモ



平成22年度 地価調査結果の発表

県は9月22日、平成22年度地価調査結果を発表しました。地価調査結果は、毎年7月1日を基準日として県が公表しております。国が行う地価公示と併せて一般の取引価格の指標となるものです。

県内の林地を除く基準値の平均変動率はマイナス約3.5%と、下落率が前年よりもわずかに縮小しているものの、18年連続でマイナスとなりました。

いわき市は、商業地・住宅地ともに下落幅が前年よりも拡大しました。商業地の平均価格は63,500円で変動率はマイナス約4.9%で18年連続の下落、住宅地の平均価格は32,200円で変動率はマイナス約4.6%で13年連続の下落となりました。

また、商業地の最高価格は、平字小太郎町の95,500円、住宅地の最高価格は、乍町1の64,300円でした。



「リノベーション」と「リフォーム」

『リノベーション』とは、既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり価値を高めたりすることです。

例えば、耐震性や防火安全性を確保し耐久性を向上させる、冷暖房に費やすエネルギー節約、社会情勢に伴って変化する建築機能の向上のために行われる工事で、間取り変更・外壁の補修・建具や窓枠の取替え、給排水設備や冷暖房設備の更新などを言います。

『リフォーム』とは、主に老朽化した建物の補修を目的としており、クロスや張替え・キッチンやユニットバスなどの入れ替え程度の小規模な工事を言います。

『リフォーム』は主に原状への修復を目的としているのに対して、『リノベーション』は建物の初期の性能以上の付加価値を加えるといった違いがあります。



無料進呈中

知らないと損をする！

『誰も教えてくれない不動産の賢い購入法』

～不動産取引って、分からない事が多すぎませんか？～

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引のいろいろな事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。この小冊子をご希望の方は小島北店までご連絡下さい。ニャンとなく お家探しはサービス1番の当社へ

一体幾らで買えるの？

引っ越し 住宅ローン

税金

自己資金 資金計画



TEL 0246 (27) 0331

